

甲州市行政改革推進委員からの意見

審議の過程で各委員から出された意見等を答申書とは別に、下記のとおり取りまとめましたので、行政改革の参考としてください。

記

1.行政改革推進について

○スピーディ・柔軟な改革実施を

- ・行政改革大綱実施計画書による実施項目については、時間の経過とともに必要な実施項目も変化してきます。見直し及び検討から実施までをスピーディに行うことが必要です。
- ・行政改革大綱実施計画の推進期間中に発生した改善課題を解決していくよう、当初の計画にとらわれない機動的かつ柔軟な対応が不可欠です。

○選択と集中で

- ・第二次行政改革では、テーマを絞り込んだ改革・市民が直接目に見える改革・成果が数字等で判断できる改革を推進することを提案します。
- ・選択と集中によりポイントを絞り込み、市民と行政が協働して課題解決に取り組むことで、市民の納得度が高まり、目に見える行政改革が実現出来ます。また、日々の努力が目に見えるようになることで、甲州市の明るい未来を語り合うことができるようになります。このような取り組みからも、行政サービスの量から質の転換が図れると考えられます。

○行政改革の成果を数字でわかりやすく

- ・市民が、市の取り組み状況を容易に把握するためには、効果・効率を数字で表すことが必要です。

○職員の行政改革に対する意識把握を

- ・市職員の行政改革に対する意識、現在職員がどんな考えを持っているかを把握することも重要です。

2.少子高齢化対策について

○少子高齢化対策

- ・少子高齢化対策として以下を提案
 - ①教育充実市としての魅力ある教育体制整備（食育教育PR）
 - ②子育て中の父母支援の充実と保育園整備
 - ③家族、地域のきずなを深める活動支援策

事実もありました。

⑤民営はつぶれるからと言う人がありますが、公立は1名の園児でもつぶれないかも知れませんが、本当は破綻しているということを認識すべきです。また、その責任は行政の指導監査の不備を棚に挙げた議論です。

⑥個人の独占について心配されるなら、それは無用です。社会福祉法人等の公の福祉団体活動となります。

⑦旧一宮町の保育所は、公立はなく全てが私立保育所でした。

○横浜市等の民間活力を生かした保育所整備について

・横浜市の公立保育所の民営化についての説明では、民間保育所が公立よりも保育ニーズに柔軟かつ迅速にこたえること、また、財源状況が厳しい中、保育水準を下げず保育コストの有効配分に努め、さらなる保育施策等の充実が可能であること等を期待しています。

加えて行政の役割として、児童福祉法第24条に、保育に係る行政の責任が明記されており、保育制度に関して、移管後も公的責任があることをしっかり述べています。そして、今後の行政の役割は、市民が利用しやすく、利用して満足できる仕組みをきちんと作り、保育サービスの直接供給主体から保育サービスに関する基盤整備に重点的に取り組むことだとしています。また、行政の指導充実強化策として移管後、監査結果・改善状況を市民に公表するとしています。直接サービスは民間、市はしっかりした管理と指導と住み分けています。

○民間でできることは民間、市はその事業の管理・指導・支援

・笛吹市、横浜市は、新しい園舎・人口の増えている地域など条件の良い保育所から民営化を進めています。笛吹市では一昨年春日居地区に園舎を新築し、民間に委託（指定管理）しました。また、横浜市では、市有地貸付事業（無償）・民間移管（土地は無償）・マッチング事業・整備促進事業などいろいろな角度から民営化を提案し、民間活力が発揮しやすい方法を示しています。

4.危機管理について

○リスクマネジメント体制の構築

・以下の項目についての取り組みが必要

①想定外の危機回避

②危機発生時の被害極小化（高齢者や子供の弱者対策）

③市民からの信用構築

④甲州市のイメージ向上（人と人のつながり対策）

⑤職員のモラル、士気向上

⑥警察、消防、コミュニティの連携

- 「甲州市観光推進計画」の着実な実施
 - ・労力や時間を割いて策定したにも関わらず、現在、足踏み状態となっている（そのように感じる）当該計画の推進を要望致します。6次産業化といった先行事例を検討するなどし、活発な活動を展開してください。

7.市組織・職員・体制等について

- 問題解決に向けて話し合いができる組織を
 - ・現場からのボトムアップによる改善、及び、それを可能とする組織作り更なる改革へ向け、現場の自主性を重んじる組織風土の醸成を目指して頂くことを要望致します。日々、業務を進めていく中で気がつく課題、面倒と思うこと、嫌なこと、扱いにくいこと等々を率直に組織で共有し、対応策について意見し合える組織を目指して頂ければと思います。
- 事務事業評価シートの活用
 - ・事務事業評価シートの作成・内容検討・公開の有用性を強く感じます。シートを作成することは、職員の意識改革や課題発見を引き出すことになり、また、シートを基に闊達な議論がなされることが、有機的な組織体制づくりにもつながると思います。
- 優先順位をつけての取り組み
 - ・甲州市で取り組まなければならないことをさらに精査し、優先順位をつけ実施してください。

8.合併関連について

- 時には行政が市民に働きかけを
 - ・合併効果をさらに出すために、市から市民へ働きかけをすべきです。
- 「甲州市民の歌」をもっと歌おう
 - ・多くの場面で「甲州市民の歌」を市民が合唱する機会をもち、連帯意識の高揚を図ってください。
- 市民意識の把握の必要性
 - ・合併後、市民の一部に現在も見える旧市町村意識についての把握が必要です。

9.市議会改革

- 議会部門も改革の再検討を
 - ・議会活性化委員会等の設置や運営全般の見直しなど、議会全般のあり方を再検討して下さい。